

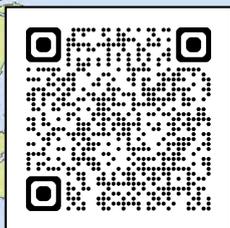
令和6年度 海運・水産関係団体連絡協議会

瀬戸内海東方海域 (大阪湾以南) 商船航行情報図



2025年3月

公益社団法人 日本海難防止協会



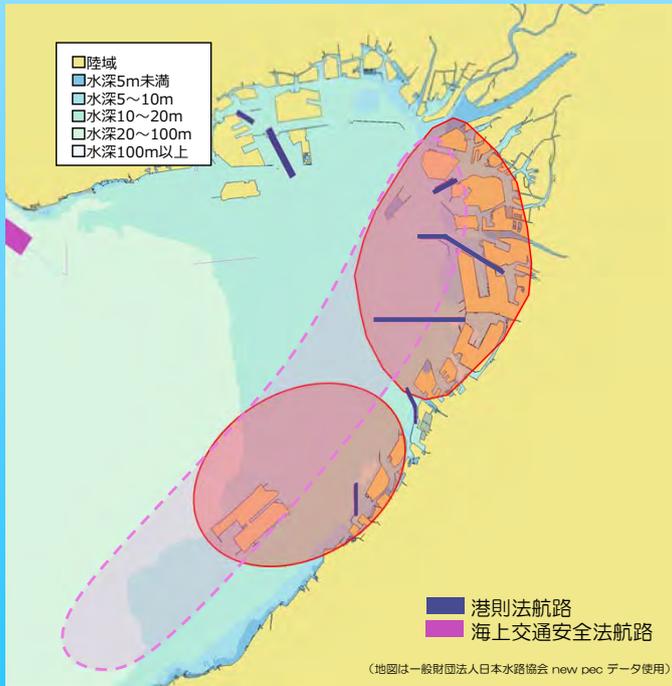
本リーフレットは
左記QRコードにて
ダウンロードできます。

(地図は一般財団法人日本水路協会 new pec データ使用)

漁具損傷事故について

漁具(流し網・刺し網)の損傷事故海域例(大阪側の例)

流し網・刺し網漁具と一般船舶との接触等により漁具が損傷する事故が発生しています。一般船舶や漁船が多く航行、操業する海域ですので操業には十分注意しましょう！



流し網・刺し網漁業(水面近くに張るもの)

流し網



(出典：大阪の魚と漁業を10倍楽しむ本)

刺し網



(出典：大阪の魚と漁業を10倍楽しむ本)

夜間、水面近くで帯状の網を固定せずに流す漁法が流し網漁業です。網の長さは数百m~3kmで、主に、サワラ、スズキ、ツバスなどを5~11月頃に漁獲します。

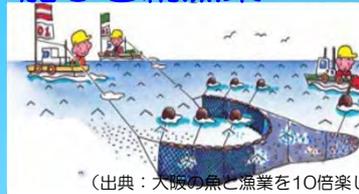
海底に立つように上に浮き、下に錘をつけた網を夕方に入れ、夜に魚を網の目に絡ませて獲る漁法が刺し網漁業です。カレイ類、カニ類、カサゴ、メバルなどを周年にわたり漁獲しています。

●：漁具(流し網・刺し網)の切断について海上保安庁に通報が多く寄せられる海域

○：主な操業海域

大阪湾では底びき網漁業や船びき網漁業など多くの漁業が営まれています。漁具の損傷事故が発生しないよう操業には十分注意しましょう！

船びき網漁業

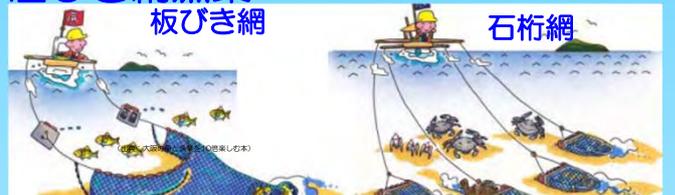


(出典：大阪の魚と漁業を10倍楽しむ本)

主に昼の漁業で、二隻の漁船で、細かい網目の漁網をゆっくりと曳き、イワシやイカナゴのシラスを漁獲します。

●：主な操業海域

底びき網漁業



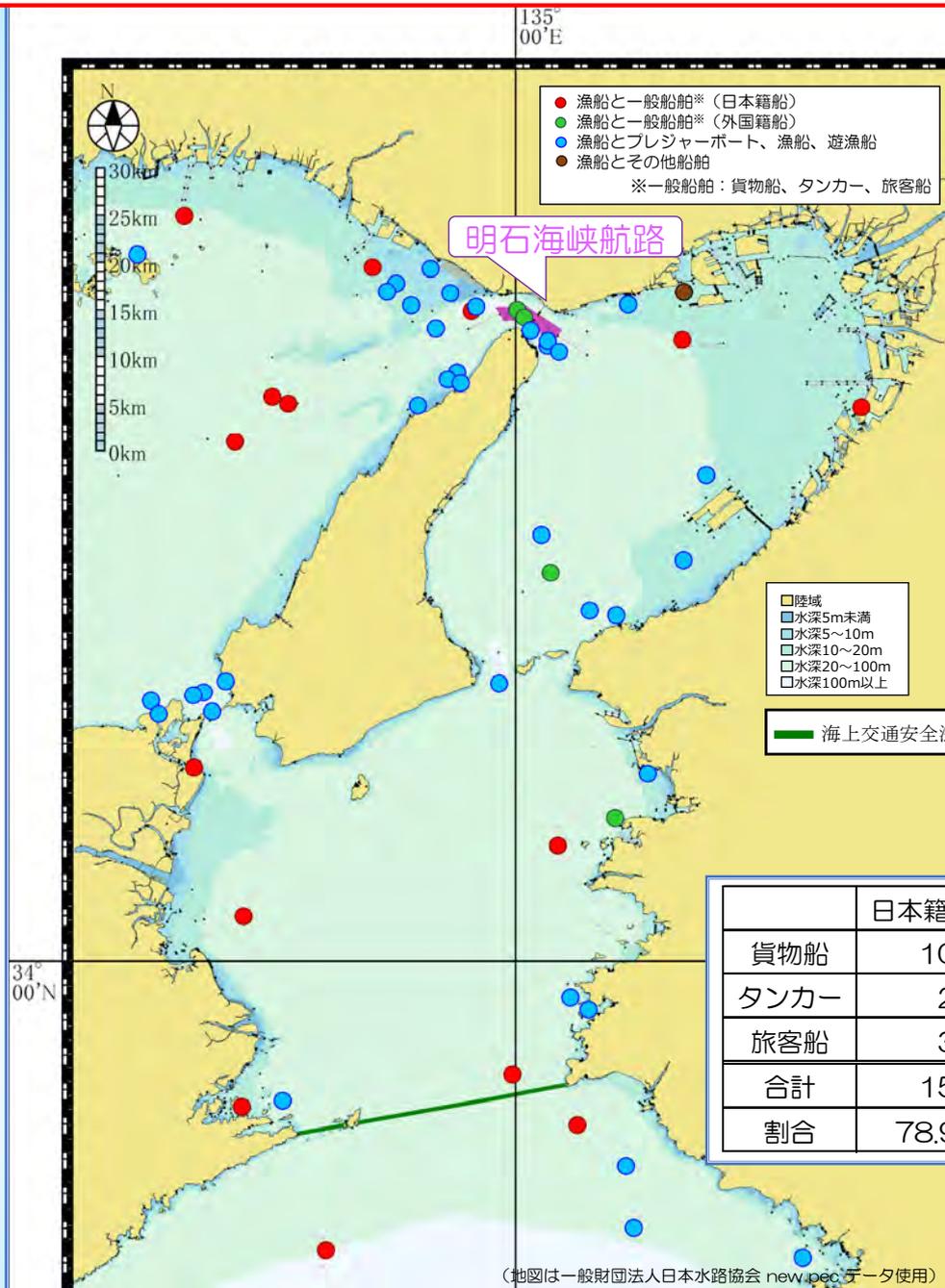
(出典：大阪の魚と漁業を10倍楽しむ本) (出典：大阪の魚と漁業を10倍楽しむ本)

主に昼の漁業で、1隻の漁船で網をひきます。開口板により網口を広げてタイやヒラメ等の魚類を獲る板びき網と、網口に爪の付いた桁を装着し、4~5の網をひくことにより、エビ、カニ、貝類等を獲る石桁網があります。

●：主な操業海域

漁船が関係する衝突海難

大阪湾のどの海域においても衝突海難が発生しており、また、外国籍船との衝突海難も発生しています。
操業中も含めて周囲の状況に注意を払いましょう！



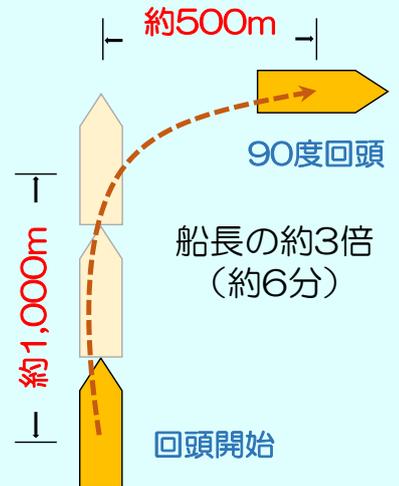
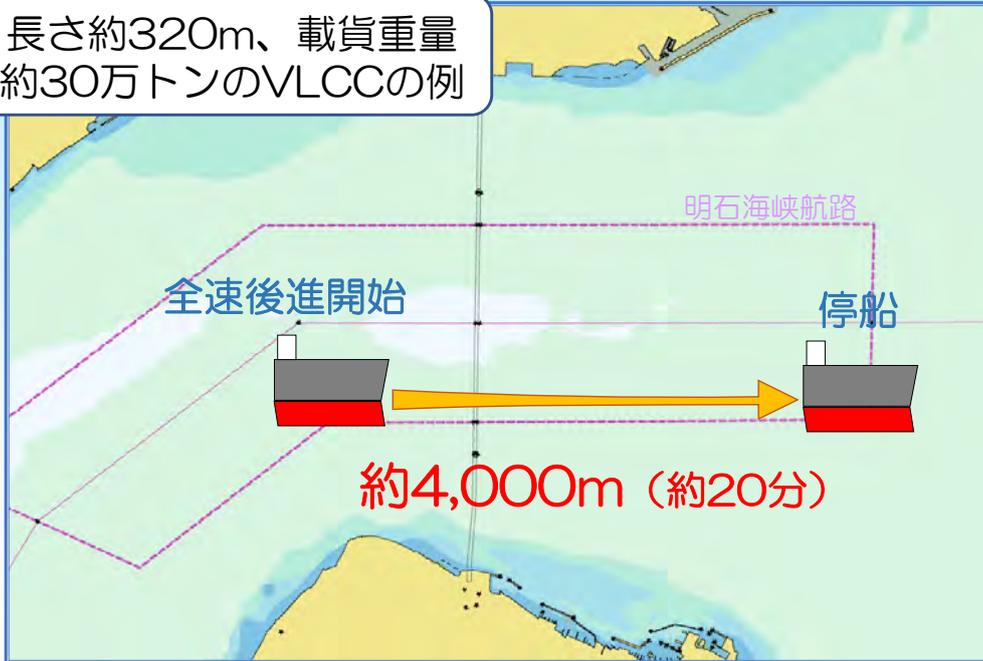
	日本籍船	外国籍船	合計	割合
貨物船	10件	3件	13件	68.4%
タンカー	2件	1件	3件	15.8%
旅客船	3件	0件	3件	15.8%
合計	15件	4件	19件	100%
割合	78.9%	21.1%	100.0%	

	平成31年 (令和元年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	総計
漁船と一般船舶	6件	5件	3件	4件	1件	19件
漁船とプレジャーボート、漁船または遊漁船	8件	5件	5件	10件	8件	36件
漁船とその他船舶	0件	0件	0件	1件	0件	1件
総計	14件	10件	8件	15件	9件	56件

大型船は急に止まれない！回れない！

大型船は急に止まったり回頭したりすることができません！**十分な距離を保ちましょう！**

長さ約320m、載貨重量約30万トンのVLCCの例



長さ約310m、載貨重量約26万トンのVLCCの例

大型船から視認されない危険に注意！

大型船はその構造や貨物などで周囲の視界が遮られ、前方視認できない距離は最大500mもあります！**十分な距離を保ちましょう！**



台風通過時の錨泊船の状況

2023年8月の台風7号通過時の大阪湾周辺の錨泊船の状況です。最も接近したのは15日13時頃と推測されますが、その**36時間前の14日午前1時にはすでに多くの錨泊船がいることがわかります。**

また、その**18時間後の16日7時の時点でもまだ錨泊船がいることがわかります。**

台風上陸前後の海面が比較的穏やかな時でも錨泊船が多くいる可能性があるので操業等注意しましょう！

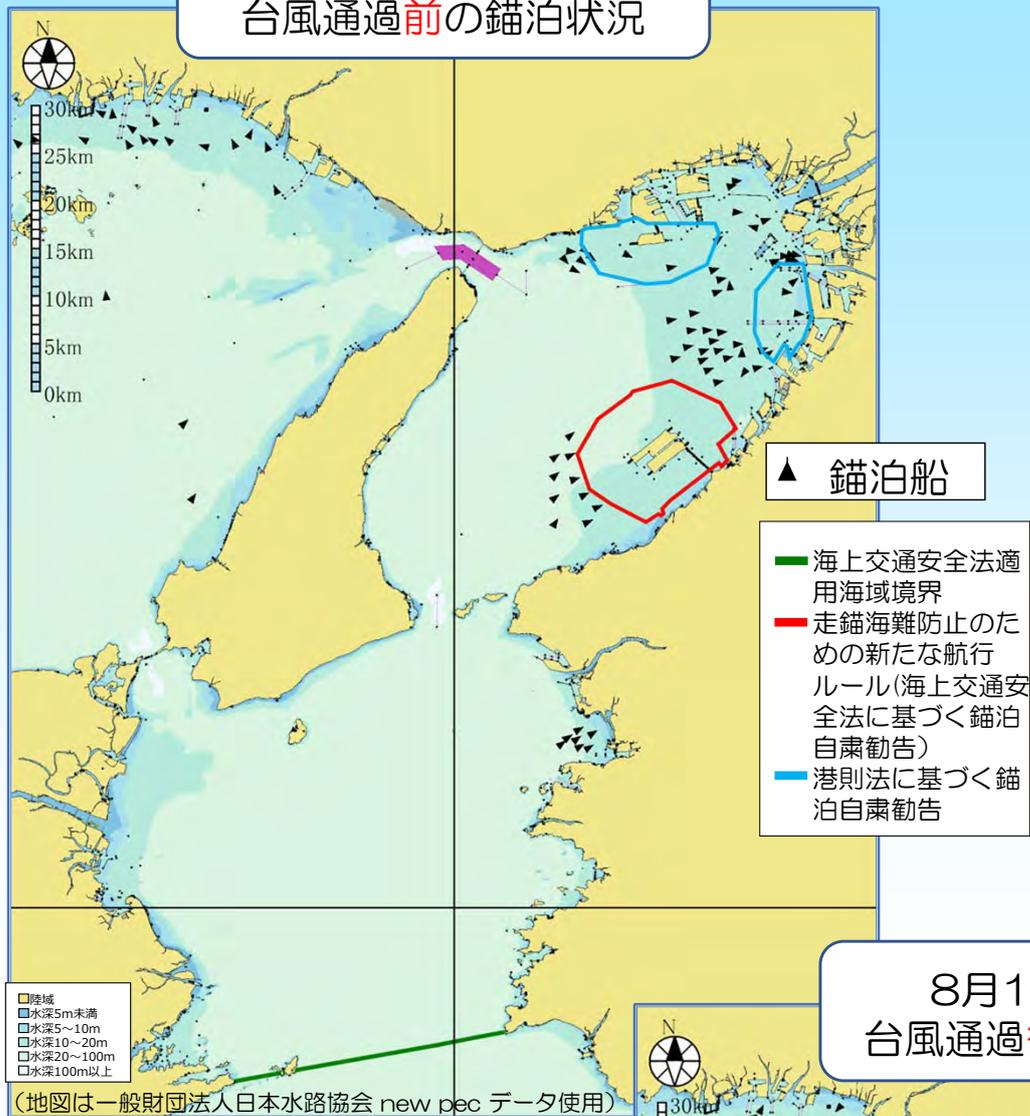
2023年8月 台風7号進路

台風中心位置：気象庁ホームページ

(地図は一般財団法人日本水路協会 new pec データ使用)



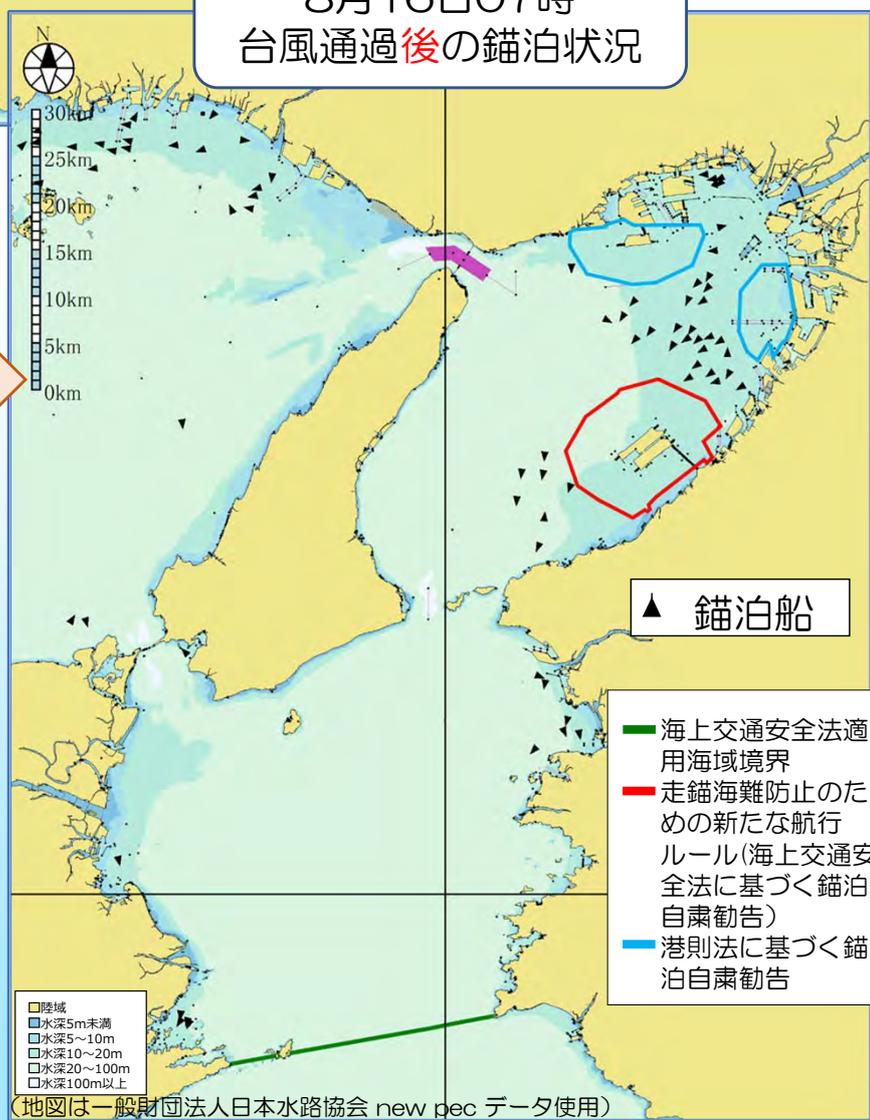
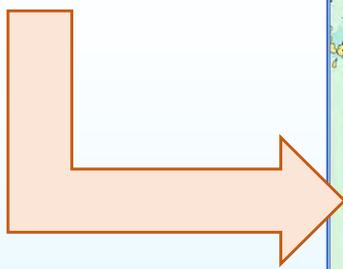
8月14日01時
台風通過前の錨泊状況



▲ 錨泊船

- 海上交通安全法適用海域境界
- 走錨海難防止のための新たな航行ルール(海上交通安全法に基づく錨泊自粛勧告)
- 港則法に基づく錨泊自粛勧告

8月16日07時
台風通過後の錨泊状況



▲ 錨泊船

- 海上交通安全法適用海域境界
- 走錨海難防止のための新たな航行ルール(海上交通安全法に基づく錨泊自粛勧告)
- 港則法に基づく錨泊自粛勧告

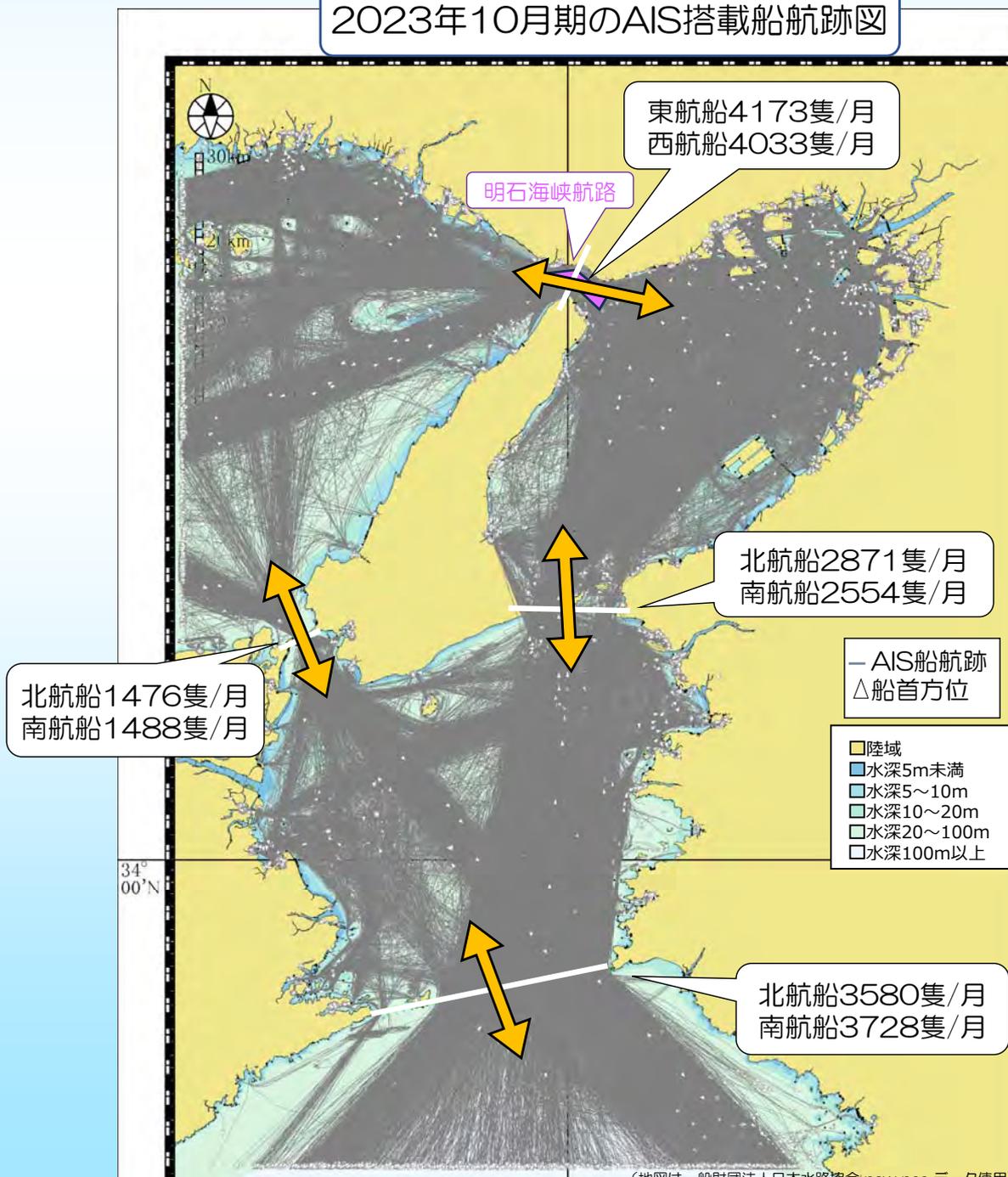
AIS※データで見る通航状況

AIS搭載船の一月間の航跡図です。
例えば明石海峡付近における南北線を通航した船舶は東航船4173隻、西航船4033隻と多くの船舶が通航していることが分かります。
また、日中通航隻数が増加する傾向があります。

※AIS(Automatic Identification System：船舶自動識別装置)は500総トン以上の船舶に搭載が義務付けられており、AISデータには船舶の位置情報の他に船種、船長、船首方位等の情報が含まれています。

※500トン未満でもAISを搭載している船舶もあり、航跡には500トン未満のAIS搭載船も含まれます。

2023年10月期のAIS搭載船航跡図



船種別航跡例（貨物船）



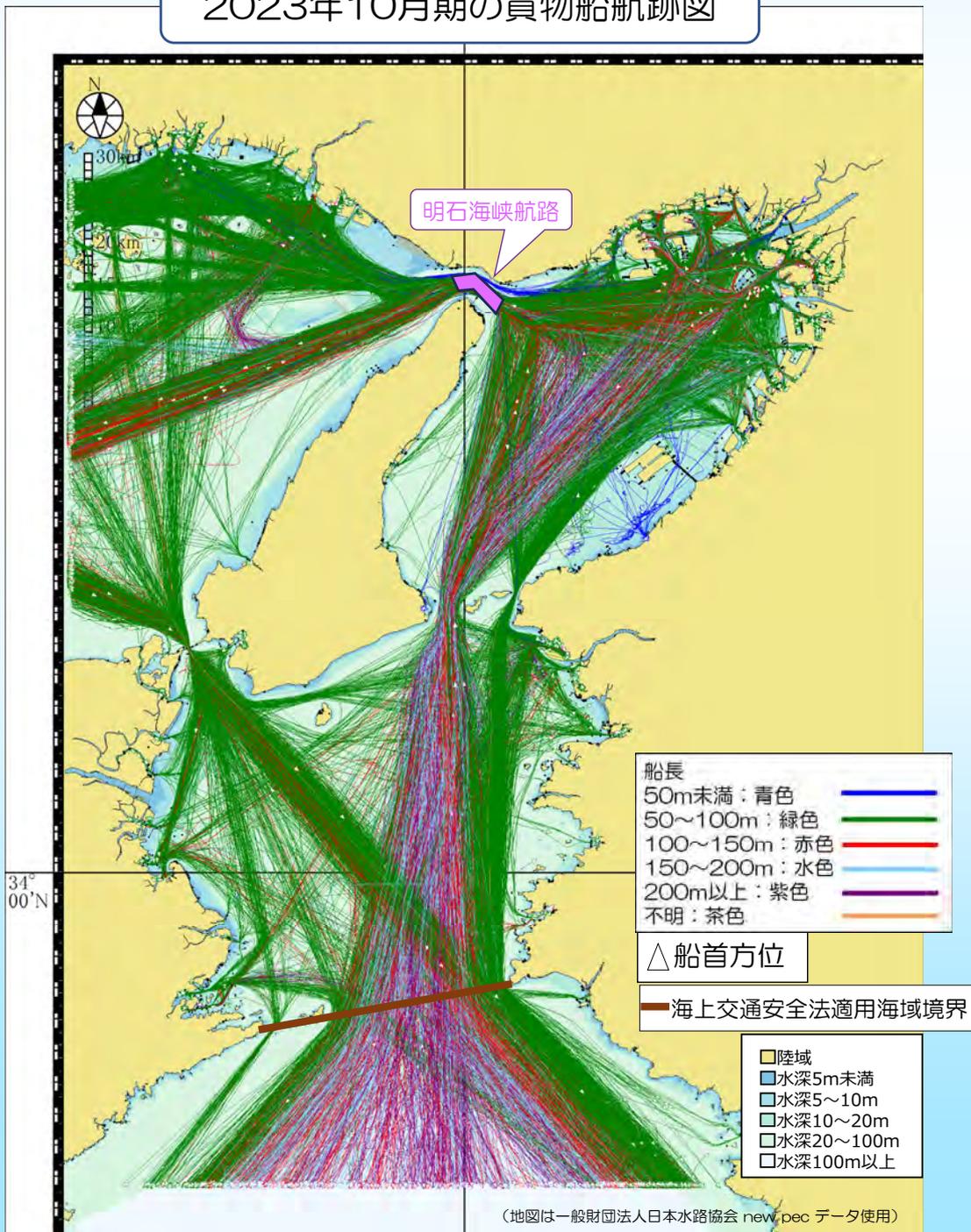
バルカー

(提供：株式会社商船三井)

様々な種類の貨物船が航行しており、ルートも多種多様です。

大きい貨物船では船長200m以上の巨大船も航行しており、操縦性能も制限されますので注意しましょう。

2023年10月期の貨物船航跡図

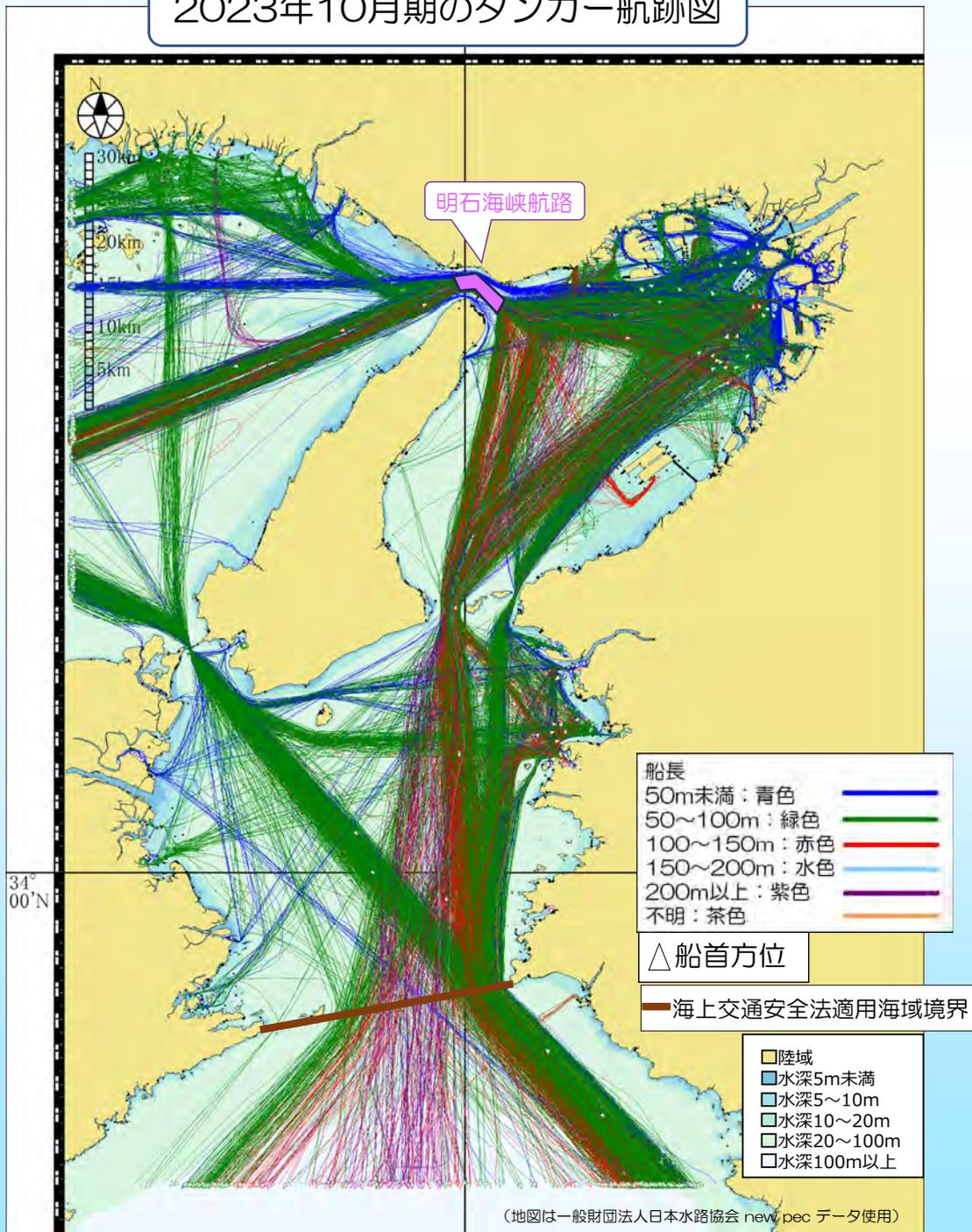


船種別航跡例（タンカー）



大小様々なタンカーが航行しており、ルートも多種多様です。
大きいタンカーでは船長200m以上の巨大船も航行しており、操縦性能も制限されますので注意しましょう。

2023年10月期のタンカー航跡図

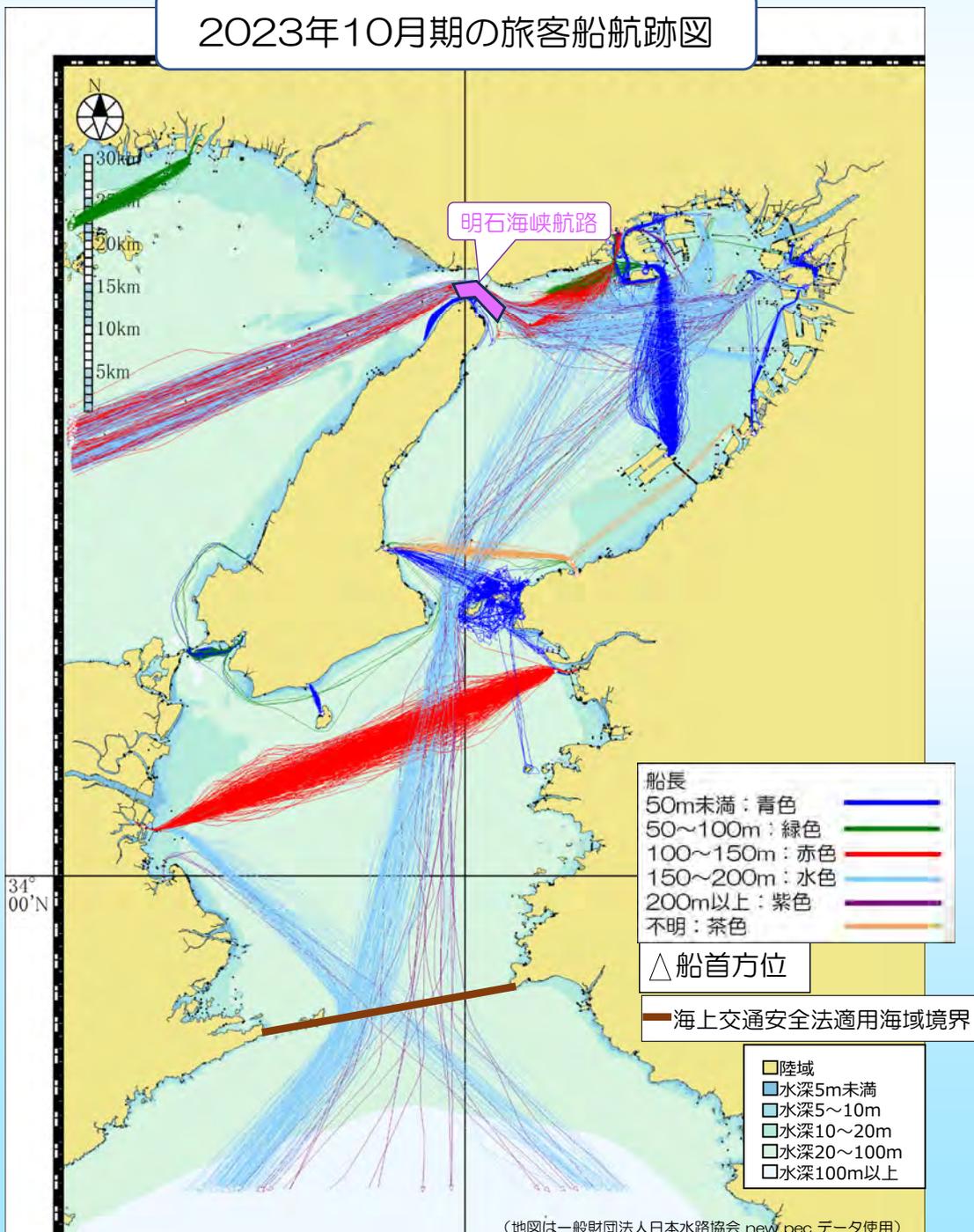


船種別航跡例（旅客船）



様々な旅客船が比較的決められたルートを通航しています。
大きい旅客船（クルーズ船）では船長**200m以上**の巨大船も航行しており、操縦性能も制限されますので注意しましょう。

2023年10月期の旅客船航跡図



海と安全に関する情報

海の安全情報（海上保安庁）



全国の海上安全情報や海上気象情報など

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/>

統計情報（海上保安庁）



「海難の現況と対策」など

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/doc/hakkou/toukei/toukei.html>

霧海難防止キャンペーン（第五管区海上保安本部）



霧海難防止の安全指導・周知活動
について

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/information/news/post-14.html>

航行安全情報（大阪湾海上交通センター）



明石海峡付近の航行安全情報など

<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/osakawan/>

船舶事故ハザードマップ（運輸安全委員会）



全国の船舶事故事例、ハザード事例など

<https://jtsb.mlit.go.jp/hazardmap/>

海のもしものは「118番」

「118番」は海上保安庁緊急通報用電話番号です。
「いつ」「どこで」「なにがあった」などを簡潔に落ち着いてお話しください。



新たな通報システム「Live118」運用開始！
～海での事件・事故の通報を映像で！～

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kouhou/post-1166.html>
(リンク先：海上保安庁ホームページ)



公益社団法人 日本海難防止協会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町33-8

元代々木サンサンビル3階

[TEL] 03-5761-6050

[URL] <https://www.nikkaibo.or.jp>